

住民の皆様へのお知らせ [第2号]

平成23年3月22日発行

燃 料

◇燃料は、少しずつスタンドに入ってきていますが、まだ品薄状態ですので引き続き節約にご協力下さい。

上・下水道（町内全域で復旧）

◇上水道は断水を解除しましたが、下水道処理施設の機能が回復していませんので、丸森・館矢間地区で下水道を利用する方は、引き続きできるだけ下水道への放流はトイレだけに限定し、風呂水・流しの水は庭や側溝に排水するようご協力願います。

電気・電話（町内全域で復旧）

道 路

◇各地の道路に亀裂・段差・凸凹等が発生していますので、十分注意して走行して下さい。

金融機関

◇町内の金融機関の営業状況は、次のとおりです。

- | | |
|--------------|---------------------------------------------------------------|
| ①七十七銀行丸森支店 | 3月23日（水）から通常どおり営業 |
| ②仙台銀行丸森支店 | 3月23日（水）から通常どおり営業 |
| ③みやぎ仙南農協丸森支店 | 通常どおり営業中（窓口営業時間：午前9時～午後3時・ATMは利用可能） |
| ④各 郵 便 局 | 通常どおり営業中（窓口営業時間：午前9時～午後4時・郵便事業は午後5時）
（ATMは現在丸森局及び大張局で利用可能） |

交通機関

◇阿武隈急行線及びJR東北本線は、運転再開の見通しは立っていません。

◇当分の間、次のとおり『有料バス』を運行します。

- | | |
|-------|------------------------------------------------------------------------|
| ①運行区間 | 阿武隈急行線丸森駅～JR仙台駅東口（直通で途中乗車・下車はできません。） |
| ②運行時間 | 往路：丸森駅発 午前6時30分 ・ 仙台駅東口着 午前8時（予定）
復路：仙台駅東口発 午後6時30分 ・ 丸森駅着 午後8時（予定） |
| ③運 賃 | 片道1,000円 |
| ④乗車定員 | 50名（先着順のため、定員に達した場合は乗車できません。） |
| ⑤運行期間 | 3月24日（木）から当分の間（土・日・祝日に関係なく毎日運行します。） |

◇『町民バス』と『あし丸くん（デマンドタクシー）』は、3月23日（水）から運行を再開します。

丸森病院

◇当分の間、次のとおり診療内容を縮小して対応いたします。

- | | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①内科・外科 | 受付時間：午前8時30分～午前11時 ・ 午後1時～午後3時
診療時間：午前9時～午後0時 ・ 午後1時30分～午後3時 |
| ②診 療 内 容 | 軽症の方への対応と薬の処方（最大7日間）となります。
※一部の検査等はできません。また、歯科は当分休診となります。
※急患は時間外でも受け付けますが、病状によっては診療できないことがあります。 |
| ③注 意 事 項 | 当院かかりつけでない方は、お薬手帳など服用中の薬がわかるものを持参して下さい。
院外の調剤薬局は、午後3時30分で閉店の予定です。 |

役場関係

◇保健福祉課より

今回の災害により『子ども医療費受給者証』の交付が4月以降になることから、4月1日以降に医療機関等を受診する場合は、一旦費用をお支払いいただき領収書を保管願います。該当される方には、後日連絡を差し上げます。

◇産業観光課より

今回の災害により管内の水田ほ場への用水等施設の破損等が考えられますが、実際に通水してみないと確認できないため、通水の開始時期は例年より遅れる見込みです。塩水選や水づけ等の作業時期について判断願います。また、今後の土地改良区からの情報にご注意願います。

※相談窓口 JAみやぎ仙南：丸森地区営農相談課（TEL72-2270）・東部営農センター（TEL63-5601）

丸森町災害対策本部【丸森町役場総務課：TEL72-3022】

裏面もご覧下さい。

3月11日に発生した東日本大震災による

東京電力福島第一原子力発電所の事故に関する情報

平成23年3月22日

宮城県丸森町

上記事故に関する問い合わせが多くきておりますが、現在、宮城県から発表されている情報は以下のとおりです。

※宮城県発表

3月20日現在、宮城県内における、

空間放射線は、健康に影響を与えるレベルではありません。

なお、参考までに福島県の環境放射能測定値もあわせて掲載します。

単位： $\mu\text{Sv/h}$ （マイクロシーベルト毎時間）

	大河原（役場付近）	白石市（電力白石営業所付近）	山元町（役場付近）	南相馬市（市役所付近）	飯館村（役場付近）	福島市（県北保健福祉事務所）
3月15日	0.36	0.06	0.23	2.91	13.0	0.05
3月16日	1.56	1.11	1.57	3.77	28.7	18.4
3月17日	1.16	1.04	1.18	3.22	22.5	12.3
3月18日	1.14	0.89	1.02	3.38	21.5	11.0
3月19日	0.78	0.80	0.85	3.06	21.2	10.3
3月20日	0.81	0.69	0.67	2.53	18.3	8.49
3月21日	0.65	0.61	0.46	2.36	12.1	7.41
第1原発からの距離	北北西 約86キロ	北北西 約85キロ	北 約62キロ	北 約24キロ	北西 約40キロ	北西 約61キロ

※3/21に測定された本町の数値 $1.48\mu\text{Sv/h}$ （東北大学で測定）は、日常生活を行ううえで特に影響を与えるものではありません。

なお、詳しい現在の状態は、3月21日（月曜日）の河北新報3面に掲載してありましたので、一部を抜粋しました。参考までにお読みください。

放射能の影響をどうとらえたらよいのか？

◎被ばく量、普段と同じ／報道・発表、科学的に正確（東北大加齢医学研究所 川島隆太教授）

私たちは、普通に暮らしているだけでも、年に2～3ミリシーベルトという単位の放射線を自然界から被ばくしています。私たちの体の中にも、放射線を出し続けているイオンまであります。シーベルトとは難しい言葉に聞こえるかもしれませんが、単に放射能の影響力を表す単位と捉えてくれば良いです。

現在、福島原発事故に伴う放射能は、宮城県の場合、1時間に0.2～0.3マイクロシーベルトの所が多いです。1000マイクロシーベルトが1ミリシーベルトですのであり得ないことですが、このままの状態が丸1年間続いたとして、被ばくする量は、 $0.3 \times 24 \text{時間} \times 365 \text{日} = 2628 \text{マイクロシーベルト}$ 、つまり2.6ミリシーベルトです。何と、普段自然に浴びている放射線量と同じなのです。現在の状態が丸一年続くほど、日本の科学力と技術力は低くありません。

外国人たちが大勢、日本からの脱出を試みっていますが、飛行機で米国や欧州に逃げ帰ると空気の薄い高高度の場所を飛行するため、地上にいるときよりも大量の放射線(宇宙線)を浴びます。

その強さは80マイクロシーベルト。10日間、現在の放射能を浴び続けるのと一緒です。しかも現在心配されている放射能はほとんどが服や靴に付いています。自宅に帰り、服や靴を脱ぐと、24時間被ばくし続けることは難しいのです。この程度の放射能を気にする人は、飛行機に乗るとかえって大量に被ばくするので、船で逃げだすことを科学者として推奨します。

以上。

首相官邸「災害対策ページ」より



東北、関東の方へ——雨が降っても、健康に影響はありません。(3/20 11:30)

雨が降っても、健康に影響はありません。ご安心ください。場合によっては、雨水の中から、自然界にもともと存在する放射線量よりは高い数値が検出される可能性はありますが、健康には何ら影響の無いレベルの、極めて微量のものであり、「心配ない範囲内である」という点では普段と同じです。

加えて、次のような配慮をすれば、さらに安心です。

- (1) 特に急ぎの用事でなければ、雨がやんでから外出する。
- (2) 頭髪や皮膚が、あまり雨で濡れないようにする。
- (3) 頭髪や皮膚が雨に濡れても心配は無いが、気になる場合は、念のため流水でよく洗う。

繰り返しますが、これらの措置を取らなければ健康に影響が出るという意味ではありません。「安心」を、より確かなものにするための対応です。

裏面もご覧下さい。